

令和6年度秩父市立高篠小学校しののめ教育推進計画

1 学校教育目標

心豊かで たくましく生きる子ども

- (1) 学ぶことを好きになろう (2) 思いやりの心を持とう (3) 運動を好きになろう

2 目指す学校像

学び、励み、希望の光いっぱいの心とむ学校

- (1) 「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」をバランスよく身に付け、生きる力を育む学校
(2) 児童一人一人に居場所があり、夢や希望を持って励むことのできる学校
(3) 安全・安心で心とむ、保護者・地域から信頼される学校

3 目指す児童像

学び、励み、希望の光いっぱいのしののめっ子

合い言葉は「スマイル チャレンジ ハッピー しののめっ子」

- (1) スマイル 《笑顔》 笑顔で登校し、笑顔で下校できる子供
(2) チャレンジ 《挑戦》 めあてや目標、夢や希望を持ち、失敗を恐れず、挑戦する子供
(3) ハッピー 《自己実現》 できた、わかった、のびた、やり遂げた喜びを実感できる子供

4 めざす教師像

笑顔と活力があふれる教師 合い言葉は「チーム・しののめ」

～全教職員の叡智を結集し、組織を生かして児童の力を伸ばす教育活動を実践できる教師～

- (1) 「子供によかれ」を第一にし、児童を愛し、児童を認め賞賛し、児童のよさを伸ばす教師
(2) 明るく豊かな心で、一人一人を見つめ、児童理解に努める教師
(3) 教師としての情熱・意欲・使命感に満ち、保護者、地域から信頼される教師

5 学校経営方針

- (1) 「学ぶ楽しさ」「できる喜び」を実感させ、確かな学力を身につける学校づくり
(2) いじめや仲間はずれがなく、思いやりがあり、心とむ学校づくり
(3) 運動の楽しさや喜びを味わわせ、健康の保持増進のための実践力を身につける学校づくり
(4) 高い指導力と意欲ある教職員で、学校・学年・学級の経営が一貫した学校づくり
(5) 家庭・地域とつながりのある教育活動を実践する開かれた学校づくり
(6) だれもが安心して安全に生活でき、保護者・地域から信頼される学校づくり
(7) 教職員、児童が学校に誇りをもつことのできる学校づくり

6 指導の重点

(1) 重点目標1 確かな学力の育成

ア 主体的、対話的で深い学びの実現にむけた授業改善

- 『チチブチャレンジ』に基づく授業の実践
- 「学ぶ楽しさ」や「できる喜び」を実感させる授業の実践
- 学習規律の確立

イ 基礎的・基本的な学習内容の定着

- 個別最適な学びを実現させるための一人1台端末の効果的な活用
- 家庭と連携した質の高い家庭学習習慣の確立
- 読書活動の充実

ウ 地域・社会とのつながりや広がりを実感させる授業の充実

- 体験的な活動の充実
- 外部講師を招いた授業の実践

(2) 重点目標2 豊かな人間性の育成

- ア 一人一人に居場所があり、温かく思いやりのある学年・学級経営
- 信頼関係に基づいた教育活動の実践
 - 目標や夢・希望に向かって努力し、成し遂げることの良さを実感する活動の充実
 - 道徳教育・人権教育の充実
 - 特別支援教育の推進
- イ 積極的な生徒指導・教育相談の実践
- 共通理解・共通認識・共通行動に基づいた組織的な指導体制づくり
 - 家庭・関係諸機関との連携の充実
- ウ 基本的な生活習慣の定着
- 当たり前のことを当たり前に行う『凡事徹底当たり前12カ条』の推進

①あいさつ・返事ができる（時と場と状況にあった気持ちよいあいさつと返事）

②時間はしっかり守る（チャイム着席）

③静かに掃除ができる（無言清掃）

④廊下は右側を歩く

⑤人の話はしっかり聞く

⑥靴やサンダルはきれいにそろえる

⑦早寝・早起き・朝ご飯ができる

⑧いじめは絶対にしない

⑨言葉遣いはていねいにする

⑩人・物・事を大切にす

⑪よいことは進んで行う

⑫感謝の心を忘れない

※太字傍線部は重点項目

(3) 重点目標3 体力向上と健康・安全な生活の推進

- ア 運動好きで運動に親しむ児童の育成
- 絆の授業の実践による児童が主体的に取り組む授業の実践
 - 新体力テストの実施に向けた計画的な指導
 - 外遊びと体育授業と連携した業間運動の充実
- イ 自ら健康を保持増進しようとする児童の育成
- 健康的な生活習慣の確立「早寝・早起き・朝ご飯」
 - 給食指導と食育の充実
- ウ 自他ともに安全な生活を実現しようとする児童の育成
- 安全指導の充実と安全管理の徹底
 - 生活安全指導、交通安全指導、災害安全指導の充実

7 教育基盤の整備・充実

- (1) 新学習指導要領に基づく教育課程の実践・評価
- (2) GIGA スクール構想実現に向けたICT機器等の整備・充実
- (3) 学校図書館の充実
- (4) しののめ台の整備
- (5) 地域人材・施設、学校応援団員の発掘・活用
- (6) 学校運営協議会の充実
- (7) 教職員の資質の向上
- (8) 教職員事故の根絶

8 教職員の働き方改革・業務改善

「子供たちにより良い教育を行うために」「教職員の元気のために」

- (1) 超過勤務時間年間360時間、月45時間以内の達成
- (2) 定時退庁の推進（ふれあいデー、定時退勤推進ウィークの設定）
- (3) かえるボードへの退勤時刻の記入
- (4) 会議の開始時刻・終了時刻の厳守
- (5) 会議資料・提出物のペーパーレス化（電子化）
- (6) 行事の精選や削減、行事に向けての準備・練習等の簡素化の推進